

シリーズ

武雄の治水

vol.47

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

令和8年度 治水対策事業予算

大雨による水害から市民の命と暮らしを守るため、引き続き治水対策を最重要施策として取り組みます。今回は令和8年度に実施する主な内容を紹介します。

【浸水被害を抑えるためのさまざまな取り組み】

- 東川流域(橋町)の高頻度洪水対策 予算額 1,800 万円
水を早く流し、ためる場所をつくるために必要な排水路等の整備に向けた調査・測量設計を行い、地域の実情に応じた効果的な対策につなげます。



- 中町地区(武雄町)の排水対策 予算額 3,000 万円
 - »新たな側溝整備
浸水被害の軽減に向けて排水能力の向上につながる新たな側溝を整備します。



- »浸水対策事業補助(事業者支援) 予算額 100 万円
側溝整備にあわせ、事業者が店舗や事業所を守るために止水板を設置する際の費用の一部を補助します。※この補助金は中町地区以外の事業者も活用できます。

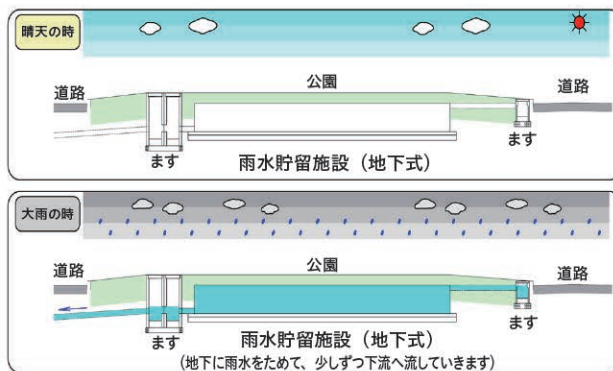
補助率
補助対象経費の 1/2以内の額
上限20万円



- 永島地区(武雄町)遊水公園整備 予算額 8,400 万円
普段は公園として、大雨のときには一時的に水をためて浸水を軽減する遊水機能を持った「遊水公園」の工事が始まります。完成は令和9年度を目指しています。



- 一の坪公園貯留施設整備 予算額 5,500 万円
既存の公園を活用し、大雨時に一時的に雨水をためる施設を公園の地下につくることで、周辺地域への流出を抑え被害を軽減します。



- 一万坊川(若木町)河川改修工事 予算額 2,450 万円
川の流れをよくするため、河川改修を進めています。

- ため池・クリーク緊急浚渫工事 予算額 6,000 万円
ため池やクリークに堆積した土砂を取り除き、排水機能を回復します。

